



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社
 コード番号 8006 URL <http://www.y-f.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 諸澤 隆芳
 (氏名) 森 雅俊

TEL 047-433-1212

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	83,795	△2.5	1,123	△20.6	1,286	△12.9	591	△27.1
23年3月期第3四半期	85,949	△3.2	1,415	21.6	1,477	19.5	810	9.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 729百万円 (59.6%) 23年3月期第3四半期 457百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	12.86	—
23年3月期第3四半期	17.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	48,618	22,234	45.0	475.55
23年3月期	45,627	21,876	47.2	467.76

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 21,874百万円 23年3月期 21,517百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	8.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,500	△0.3	1,950	1.2	2,050	0.8	1,050	4.2	22.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	48,977,231 株	23年3月期	48,977,231 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	2,978,577 株	23年3月期	2,975,238 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	46,001,456 株	23年3月期3Q	46,009,407 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) その他の注記事項	10
(8) 重要な後発事象	10
5. 補足情報	11
(1) 販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、東日本大震災の影響による生産活動の停滞から緩やかに持ち直しているものの、原子力災害や電力供給の制約、欧州債務危機による海外経済の減速懸念、円高の長期化などから、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

食品流通業界におきましては、震災による商品の供給不足は解消されましたが、放射能汚染に伴う出荷停止措置や風評被害などにより、特に農水産物など影響を受けました。

また、ビジネスホテル業界におきましても、震災後の急激な落ち込みから回復傾向にありましたが、円高の影響などもあり訪日外国人客は減少しました。

このような状況の中で当社グループは、首都圏を基盤に地域に密着した営業を展開してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高837億95百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益11億23百万円（前年同期比20.6%減）、経常利益12億86百万円（前年同期比12.9%減）、四半期純利益は投資有価証券評価損2億67百万円を計上したことなどにより5億91百万円（前年同期比27.1%減）となりました。

事業別セグメントの概況

①商事部門

商事部門におきましては、震災による需要が一巡した以降は、消費者の節約意識から販売数量が伸び悩む中、低価格品へのシフトが続きました。また、放射能汚染により、食の安全や健康に対する意識が一層高まりました。

このような中、商品供給を的確に行う中で、新規取引の開拓に努めてまいりました。

部門別の売上高は、食品では砂糖、冷凍・チルド商品、菓子が引き続き増加しましたが、酒類が減少し前年同期並みとなりました。業務用商品では小麦粉は前年同期並みとなりましたが、油脂の価格上昇、販売数量増もあり前年同期を上回りました。飼料畜産では飼料は価格上昇や販売数量増などにより増加しましたが、畜産は取り扱い数量が減少し前年同期を下回りました。米穀では家庭用精米が増加しましたが、業務用精米、玄米取引が減少し前年同期を下回りました。

その結果、商事部門全体の売上高は808億95百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は12億34百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

②ホテル部門

ホテル部門におきましては、競合ホテルとの競争により客室単価が低下するなど厳しい状況の中、放射能問題や円高の影響により訪日外国人客が減少しましたが、震災後の大幅な減少から脱し、ビジネス客を中心に回復しております。

その結果、売上高は23億32百万円（前年同期比17.5%減）、営業利益は1億25百万円（前年同期比42.7%減）となりました。

③不動産部門

不動産部門につきましては、賃貸料収入として売上高は5億68百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は4億72百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少13億96百万円、受取手形及び売掛金の増加32億59百万円、商品及び製品の増加5億92百万円、原材料及び貯蔵品の増加5億79百万円など流動資産が35億1百万円増加し、建物及び構築物など有形固定資産の減少2億23百万円、ソフトウェアなど無形固定資産の減少1億6百万円などにより、前連結会計年度末に比べ29億91百万円増加し486億18百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加36億78百万円、短期借入金の減少6億11百万円、未払法人税等の減少5億9百万円、長期借入金の増加3億44百万円などにより、前連結会計年度末に比べ26億33百万円増加し263億84百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加2億23百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億34百万円などにより、前連結会計年度末に比べ3億57百万円増加し222億34百万円となりました。自己資本比率は45.0%となりました。

当期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益10億20百万円、減価償却費5億1百万円、売上債権の増減額△32億49百万円、たな卸資産の増減額△11億78百万円、仕入債務の増減額36億78百万円、法人税の支払額△9億26百万円などにより△5億23百万円（前年同期比14億60百万円減）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出△1億4百万円、投資有価証券の取得による支出△52百万円などにより△1億29百万円（前年同期比1億74百万円減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入れによる収入5億57百万円、長期借入金の返済による支出△7億94百万円、配当金の支払額△3億68百万円などにより△7億33百万円（前年同期比10億72百万円増）となりました。その結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は26億87百万円（前年同期比1億66百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降も当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、連結業績予想につきまして変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,199	2,803
受取手形及び売掛金	12,906	16,166
有価証券	5	5
商品及び製品	1,187	1,780
仕掛品	27	32
原材料及び貯蔵品	355	935
繰延税金資産	131	8
未収入金	2,382	2,765
その他	68	295
貸倒引当金	△107	△134
流動資産合計	21,158	24,659
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,753	13,427
減価償却累計額	△9,016	△8,893
建物及び構築物(純額)	4,736	4,534
機械装置及び運搬具	1,799	1,838
減価償却累計額	△1,473	△1,539
機械装置及び運搬具(純額)	325	298
土地	10,611	10,594
その他	1,307	1,377
減価償却累計額	△1,061	△1,108
その他(純額)	246	268
有形固定資産合計	15,920	15,697
無形固定資産		
ソフトウェア	147	47
その他	168	161
無形固定資産合計	315	208
投資その他の資産		
投資有価証券	4,307	4,320
長期貸付金	482	462
繰延税金資産	966	787
差入保証金	2,476	2,492
その他	349	322
貸倒引当金	△348	△332
投資その他の資産合計	8,233	8,053
固定資産合計	24,469	23,959
資産合計	45,627	48,618

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,794	18,473
短期借入金	4,676	4,064
未払法人税等	536	27
賞与引当金	96	28
災害修繕引当金	65	—
その他	1,533	1,428
流動負債合計	21,703	24,021
固定負債		
社債	35	30
長期借入金	497	841
退職給付引当金	603	616
役員退職慰労引当金	22	21
負ののれん	20	11
長期未払金	222	186
その他	647	655
固定負債合計	2,047	2,363
負債合計	23,751	26,384
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,576	5,576
利益剰余金	11,060	11,283
自己株式	△623	△624
株主資本合計	21,611	21,834
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△94	40
その他の包括利益累計額合計	△94	40
少数株主持分	358	359
純資産合計	21,876	22,234
負債純資産合計	45,627	48,618

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	85,949	83,795
売上原価	77,110	75,785
売上総利益	8,839	8,010
販売費及び一般管理費	7,424	6,886
営業利益	1,415	1,123
営業外収益		
受取利息	26	21
受取配当金	99	101
デリバティブ評価益	5	—
その他	84	101
営業外収益合計	216	223
営業外費用		
支払利息	60	41
為替差損	64	9
その他	30	8
営業外費用合計	154	60
経常利益	1,477	1,286
特別利益		
投資有価証券売却益	5	—
災害修繕引当金戻入額	—	5
資産撤去費用見積改定額	—	17
特別利益合計	5	22
特別損失		
固定資産処分損	13	2
減損損失	2	4
投資有価証券評価損	57	267
東日本震災損	—	15
特別損失合計	72	289
税金等調整前四半期純利益	1,409	1,020
法人税、住民税及び事業税	599	207
法人税等調整額	9	216
法人税等合計	608	424
少数株主損益調整前四半期純利益	801	595
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△9	4
四半期純利益	810	591

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	801	595
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△344	134
その他の包括利益合計	△344	134
四半期包括利益	457	729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	466	725
少数株主に係る四半期包括利益	△9	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,409	1,020
減価償却費	529	501
減損損失	2	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△70	△68
退職給付引当金の増減額(△は減少)	35	13
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△35
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16	10
災害修繕引当金の増減額(△は減少)	—	△65
受取利息及び受取配当金	△126	△122
支払利息	60	41
投資有価証券評価損益(△は益)	57	267
有形固定資産除売却損益(△は益)	13	2
売上債権の増減額(△は増加)	△4,051	△3,249
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15	△1,178
その他の資産の増減額(△は増加)	△453	△343
仕入債務の増減額(△は減少)	3,823	3,678
その他の負債の増減額(△は減少)	6	△26
その他	71	△125
小計	1,312	323
利息及び配当金の受取額	124	121
利息の支払額	△61	△42
法人税等の支払額	△437	△926
営業活動によるキャッシュ・フロー	937	△523
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40	△104
有形固定資産の売却による収入	4	12
有形固定資産の除却による支出	△6	△0
投資有価証券の取得による支出	△2	△52
投資有価証券の売却による収入	122	0
子会社株式の取得による支出	△0	—
貸付金の回収による収入	19	20
その他	△50	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	45	△129
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△793	△30
長期借入れによる収入	319	557
長期借入金の返済による支出	△888	△794
配当金の支払額	△368	△368
その他	△76	△97
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,806	△733
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△872	△1,395
現金及び現金同等物の期首残高	3,726	4,083
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,854	2,687

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	82,551	2,828	569	85,949	—	85,949
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	9	—	28	38	(38)	—
計	82,561	2,828	598	85,988	(38)	85,949
セグメント利益	1,436	218	473	2,128	(712)	1,415

(注) 1. セグメント利益の調整額△712百万円には、のれん償却額△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△716百万円、その他10百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	80,895	2,332	568	83,795	—	83,795
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6	—	28	35	(35)	—
計	80,901	2,332	597	83,831	(35)	83,795
セグメント利益	1,234	125	472	1,832	(709)	1,123

(注) 1. セグメント利益の調整額△709百万円には、のれん償却額△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△707百万円、その他4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) その他の注記事項

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(8) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年12月31日まで)	前年同四半期比
食品（酒類・飲料含む）	54,474	53,802	98.8
業務用商品	12,020	12,196	101.5
米穀	8,260	7,295	88.3
飼料・畜産	7,795	7,600	97.5
商事部門計	82,551	80,895	98.0
ホテル部門	2,828	2,332	82.5
不動産部門	569	568	99.7
合計	85,949	83,795	97.5